学校番号	1015

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)総合数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に就職試験、公務員試験の筆記問題を解けるようになるために、今までに学んできたことを復習します。基本的な公式を覚え、問題を解いていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
変化と関係、数と式、場合の数と確率についての基礎的な知識や技能を定着させ、それらを応用させる力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できる。
【学びに向かう力、人間性等】
習得した知識・技能や思考力判断力を活用する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	変化と関係	割合	a:伴って変わる二つの数量の関係について理解し，変化や対応の様子を式に表したりするとともに，二つの数量の関係を比べる場合について割合や比の意味や表し方を理解し，これらを求めたりすることができる。 b:二つの数量の関係などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考えたり，統合的・発展的に考えたりすることができる。 c:考察の方法や結果を振り返って，よりよい解決に向けて工夫・改善をするとともに，数理的な処理のよさに気付き，数量の関係の特徴を生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。	考査 小テスト	考査 小テスト	パフォーマンス課題 振り返りシート
2学期	変化と関係	割合	a:伴って変わる二つの数量の関係について理解し，変化や対応の様子を式に表したりするとともに，二つの数量の関係を比べる場合について割合や比の意味や表し方を理解し，これらを求めたりすることができる。 b:二つの数量の関係などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考えたり，統合的・発展的に考えたりすることができる。 c:考察の方法や結果を振り返って，よりよい解決に向けて工夫・改善をするとともに，数理的な処理のよさに気付き，数量の関係の特徴を生活や学習に活用しようとする態度を身に付ける。	考査 小テスト	考査 小テスト	パフォーマンス課題 振り返りシート

	数と式	集合	a:集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 b:集合の考えを用いて論理的に考察し，簡単な命題を証明することができる。 c:集合について，それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 ド・モルガンの法則に関心をもち，考察しようとする。	考査 小テスト	考査 小テスト	パフォーマンス課題 振り返りシート
3学期	場合の数と確率	順列･組合せ	a:具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b:事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c:順列，円順列，重複順列の違いに興味・関心をもつ。 組合せの考え方を利用して，図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。	考査 小テスト	考査 小テスト	パフォーマンス課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度